

豊田 PCB 処理事業所 長期処理計画について  
(豊田事 PCB 処理業部会、豊田市 PCB 処理安全監視委員会 資料抜粋)

平成 28 年 6 月 17 日開催の第 31 回事業部会において、東海 4 県内の PCB 廃棄物について、平成 28 年度当初の処理量予測及び年度別処理予測をお示しいたしました。1 年が経過し、掘り起こし状況等を踏まえ、見直しを行いました。

平成28年度末現在までに処理が完了した量と平成29年度当初の処理量予測を加えたものが、東海4県内のPCB廃棄物の総量であるとして、PCB廃棄物の種類ごとの年間処理見込数を考慮して、平成29年度以降の年度別処理予測をお示しいたしました。

ただし、この予測は PCB 保管事業者などが JESCO への処理を順調に委託された場合であり、出し渋りなどにより、JESCO への処理委託が遅れた場合には、処理完了が今回の予測より遅れることが考えられます。

区分		平成28年度末 処理量実績 (試運転含む) (※1)	平成28年度末までの 処理 進捗率 (※2)	年間 処理見込 数(※3)	平成29年度当初の処理量予測						処理計画							
						JESCO 登録 未処理量 (※4)	特措法届出・ 未登録(※5)	電事法届出・ 未登録(※6)	地域間 移動量	掘起 見込量 (※9)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度		
大型トランス		381	88.8	30	48	48	-	-	-	-	13	13	22	-	-	-		
小型トランス		1,248	79.3	60	326	93	193	10	-	30	60	60	60	60	60	26		
車載トランス	豊田	382	458	57.3	60	260	260	-	-	-	-	60	60	60	60	20	-	
	【北九州・大阪・東京で処理】	76			-	82	82	-	-	-82	-	62	14	6	-	-	-	-
コンデンサ	健常品	42,159	83.5	6,000 (※7)	8,313	5,456	1,183	874	-	800	3,000	3,000	2,313	-	-	-	-	
	健常品(炭化品)【大阪で焼却】	79	49,237 (PP除く)		15.8	421	421	-	-	-421	-	68	120	120	113	-	-	-
	処理手間物	4,299	76.2		1,340	1,340	-	-	-	-	1,000	340	-	-	-	-	-	-
	PPコンデンサ(大阪)(※8)	2,664	-		2,310	2,310	-	-	2,310	2,010	300	-	-	-	-	-	-	-
	小型機器(10kg未満)	2,700	18.9		3,000	11,572	10,472	-	-	-	1,100	2,000	2,000	3,000	3,000	1,572	-	-
PCB油等		539	44.5	200	671	671 (※10)	-	-	-	-	67	121	200	160	123	-	-	
保管容器		1,036	37.5	400	1,726	1,726	-	-	-	-	400	400	400	400	126	-	-	
安定器・汚染物等【北九州で処理】		423t	23.3	-	1,390t	1,390t	-	-	-	-1,390t (※11)	250t	285t	350t	350t	155t	-	-	
【留意事項】																		
※1 処理実績は、事業管理システムから、中間処理完了ベースで記載。																		
※2 処理進捗率＝平成28年度末処理量実績×100÷(平成28年度末処理量実績＋平成29年度当初の処理量予測)																		
※3 過去の処理実績等から推計。																		
※4 JESCO登録未処理量は、H29年4月1日現在、JESCOに登録があるが、中間処理完了ベースで未完了の量を記載。																		
※5 特措法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年10月見直し)																		
※6 電事法で届出されているが、JESCO未登録の量を記載。(平成29年10月見直し)																		
※7 健常品コンデンサとPPエポキシと処理手間物を加えた全体の処理見込数。																		
※8 大阪事業から地域間移動のPPエポキシは、東海4県以外の登録量のため処理量実績から除外。																		
※9 北九州事業の実績を踏まえ、未処理量の1割程度が掘り起こされるものと想定。																		
※10 金属タンク8基をドラム缶に置き換えた293缶を含む。																		
※11 現在掘起見込量の予測が十分でないため、空欄としている。																		